

小学校

s5-10

5学年

平均

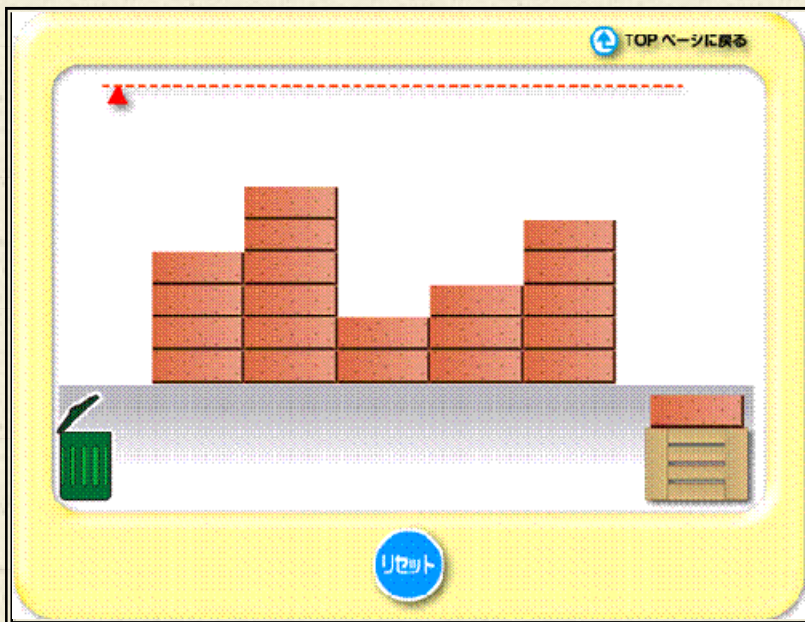
【ねらい】

平均の意味を理解する。

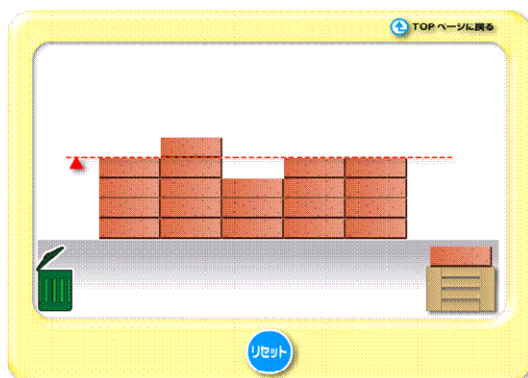
【特徴】

- ◇ 積み上げられたレンガを自由に移動でき、水平になるように動かすことで「ならず」の意味理解が図れます。
- ◇ 予備のレンガを積むことで、様々な状況を設定することができ、平均を見積もらせる活動ができます。

【関連する単元】



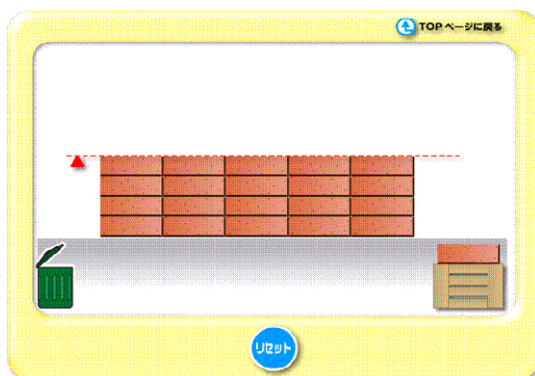
【活用場面】 導入段階の課題提示、算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



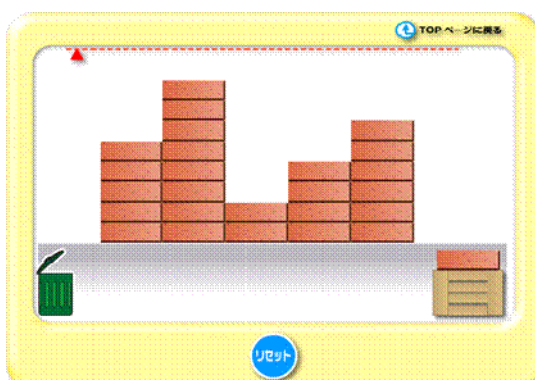
「平均」の基礎となる「ならず」という考え方を理解させるのに有効です

レンガを水平に並べるため、移動の操作を通して「ならず」という考え方を理解させることができます。

- ◇ どのレンガをどこに動かせば、レンガは水平に積み上げられ、何段の高さになるか見通しをもたせます。
- ◇ 予想される高さに赤の点線ラインを置きます。
- ◇ 児童とやりとりしながら、レンガを1つずつ移動させます。



- ◇ レンガを移動させた結果の水平になった状況を観察させ、元どこにあったレンガがどこに移動したかをおさえます。
- ◇ 次に、水平になった結果、レンガは何段積み重なったかをおさえます。
- ◇ 段数に違いがあり高い、低いができていた状況を同じ段数(数量)にそろえることを「ならず」ということを理解させます。



「ならず」という考え方で同じ数量にした状況を見積もらせることに有効です

予備のレンガを自由に積み上げて異なる場面を設定し、ならした結果を見積もらせます。

- ◇ 予備のレンガを更に積み、異なる状況を設定します。
- ◇ 「ならず」と何段まで積み上がるか予想を立てさせます。その際、判断の根拠についての説明もさせます。
- ◇ 実際にレンガを移動させます。